

小児泌尿器科オープンサージャリー 見て学ぶプロフェッショナルの技

企画にあたって

「臨床泌尿器科」愛読者の皆様に「小児泌尿器科オープンサージャリー—見て学ぶプロフェッショナルの技」をお届けします。

毎号出色の特集が目白押しの「臨床泌尿器科」のなかで、小児泌尿器科を特集するチャンスをいただきました。魅力ある企画にするために、最近数年間の泌尿器科関係の医学雑誌のほか、小児科や外科関係のさまざまな雑誌を閲覧しました。そのなかで「泌尿器内視鏡手術のすべて」（本誌 72 巻 4 号）に心を奪われました。多くの手術書では術野の写真が掲載されていますが、立体感がないため物足りなく感じていました。裏表紙に手術の DVD が貼付されている手術書もありましたが、大抵すぐにその DVD は行方不明になります。しかし、「泌尿器内視鏡手術のすべて」では QR コードを読み取れば、スマホで動画を観ることができたのです。私は医学雑誌でこれまでにこのような経験をしたことがありませんでした。

そこで私は、「動画で見る小児泌尿器科の開放手術」という特集にしたいと考えました。開放手術は内視鏡・腹腔鏡手術のように自動的にビデオ撮影をすることができないために、動画を用いた特集は難しいといわれてきました。しかし、もしも小児泌尿器科の開放手術に関する論文に、1～数分ずつだけでも熟練の技の動画が添付されていたら、かつてない貴重な特集になると思いました。

前半は「泌尿器科医として習得したい手術」としました。腎盂尿管移行部通過障害、膀胱尿管逆流（VUR）、包茎、停留精巣、陰嚢水腫など 8 疾患につき、小児泌尿器科のスペシャリストの方々に手術工程を分かりやすいイラストで紹介してもらいました。そしてこの企画の目玉商品、手術のさわりの部分の動画を準備してもらいましたので、読者の皆様はスマホで映像をご覧ください。

後半は「小児泌尿器科プロフェッショナルレベルの手術」と銘打ち、専門領域ならではの稀少疾患とその手術について斯界の達人の先生方に執筆いただきました。これらの手術は小児泌尿器科領域で代々受け継がれてきた匠の技を駆使したダイナミックな手術ばかりです。もちろんこちらも動画を視聴することができます。

多くの泌尿器癌の手術がロボット支援手術に移行しました。今後、小児泌尿器科にもロボット支援手術が普及していくと思われます。だからこそ今、開放手術の醍醐味を身近なスマホを使って追体験してほしいのです。

本特集で勉強して下さった先生方の中から近い将来、サブスペシャリティとして小児泌尿器科の道を選んでくれる若手の先生が現れることを、企画者として衷心より期待しております。

名古屋市立大学大学院医学研究科
小児泌尿器科学分野

林 祐太郎

■動画配信のお知らせ

本号の特集では、本文中に▶動画マークのあるものにつきまして、関連動画を閲覧できます。頁下にごございます QR コード(二次元バーコード)をスマートフォン、タブレット PC などで読み取ってご覧ください。パソコンからご覧になる場合は URL を入力してください。なお、動画閲覧の際は以下の注意点を必ずお読みください。

【ご注意】

- ・動画を再生する場合、ご自身の携帯電話会社との契約に基づきパケット通信料が発生いたします。パケット通信料はご自身のご負担となります。
- ・ご使用のスマートフォン、タブレット PC などがパケット定額サービスなどに加入されていない場合、多額のパケット通信料が請求される恐れがありますのでご注意ください。
- ・フィーチャーフォンには対応しておりません。何卒ご了承ください。
- ・本特集の動画の公開期間は 2022 年 6 月末までです。